



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 持田製薬株式会社

コード番号 4534 URL <http://www.mochida.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 持田 直幸

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 専務執行役員

(氏名) 青木 誠

TEL 03-3358-7211

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 42,512 | 8.6 | 7,370 | 8.7 | 7,531 | 8.2 | 4,705 | 21.1 |
| 23年3月期第2四半期 | 39,151 | △1.1 | 6,782 | △19.8 | 6,960 | △17.4 | 3,885 | △34.4 |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 5,214百万円 (51.4%) 23年3月期第2四半期 3,443百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 44.14 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 34.93 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 117,272 | 79,356 | 67.7 |
| 23年3月期 | 108,577 | 78,129 | 72.0 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 79,356百万円 23年3月期 78,129百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 11.00 | — | 11.00 | 22.00 |
| 24年3月期 | — | 11.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 11.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 83,500 | 5.0 | 12,400 | 6.2 | 12,600 | 4.8 | 7,500 | 40.6 | 71.72 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 119,000,000 株 | 23年3月期 | 119,000,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 14,432,645 株 | 23年3月期 | 11,155,545 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 106,606,459 株 | 23年3月期2Q | 111,248,301 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、平成23年11月2日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| 4. 補足情報 | 10 |
| (1) [連結]設備投資、減価償却費、金融収支、研究開発費 | 10 |
| (2) 主要製品の売上高 | 11 |
| (3) 医薬品開発状況 | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

医薬品業界は、医療費財源確保の問題を背景とする薬剤費抑制諸政策が継続的に進められ、また国内外の企業間競争が一段と激化するなど、引き続き厳しい事業環境下にあります。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における当社グループ（当社および連結子会社、以下同じ）は前期に引き続き、グループ経営体制の整備、人員の適正化、全社的な生産性の向上への取り組みなど、経営全般にわたる業務改革を推進いたしました。

医薬品関連事業では、重点領域の循環器、産婦人科、皮膚科、救急、および精神科領域にリソースを集中し、スペシャリティファーマーを目指して、主力製品を中心とした学術情報提供活動を積極的に展開いたしました。なお、東日本大震災での罹災により一時操業を停止していた持田製薬工場（株）本社工場（栃木県大田原市）は、平成23年4月中旬より順次操業を再開し平成23年6月末に全面的に再開しております。

ヘルスケア事業は、敏感肌のための基礎化粧品のエキスパートとして事業活動を行い、マーケティングの強化に努め市場開拓を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、事業活動の一部に東日本大震災の影響を受けましたが425億1千2百万円、前年同期比8.6%の増収となりました。

これを事業別に見ますと、医薬品関連事業では主力製品の高脂血症・閉塞性動脈硬化症治療剤「エパデール」が前年同期を上回る売上高となり、震災の影響により一時供給に支障をきたした子宮内膜症治療剤「ディナゲスト」が売上高を回復し、またジェネリック医薬品も順調に伸長しました。持続性Ca拮抗降圧剤「アテレック」等が前年同期を下回りましたが、ロイヤリティ収入等や、平成23年8月から販売を開始した抗うつ剤「レクサプロ」の寄与も加わり、売上高は406億6千7百万円、前年同期比8.8%の増収となりました。

ヘルスケア事業は市場が低迷しているなか、抗真菌剤配合シャンプー・リンス等の抗菌ケア製品「コラーージュフルフルシリーズ」が堅調に推移し、売上高は18億4千4百万円で、前年同期比4.7%の増収となりました。

次に当第2四半期連結累計期間の利益面ですが、研究開発費および販売費が前年同期に比べ増加したものの、増収による売上総利益の増加により、営業利益は73億7千万円、前年同期比8.7%の増益となりました。また、経常利益は75億3千1百万円で前年同期比8.2%の増益となりました。四半期純利益は、持田製薬工場（株）本社工場の罹災に伴い平成23年3月期に計上した災害損失引当金の精算処理および同工場の一時操業停止に伴う今期の災害損失額の計上等により、47億5百万円で前年同期比21.1%の増益となりました。

研究開発の状況につきましては、創薬研究所は独創的グローバル新薬の創製を目指して、引き続き、慢性疼痛、糖尿病・肥満の2分野にテーマを集中して活動いたしました。国内外の機関との共同研究等により研究活動の効率化を図り、敗血症治療薬（抗体医薬）、疼痛治療薬および糖尿病治療薬の導出活動にも積極的に取り組んでおります。

臨床開発面では、尖圭コンジローマ治療薬「ベセルナクリーム」は日光角化症の効能追加について承認申請中です。その他の開発パイプラインも順調に進捗しており、潰瘍性大腸炎治療剤「MD-0901」の臨床第Ⅲ相試験、高血圧症治療用の配合剤「AJH801」（シルニジピン・バルサルタン配合剤）の臨床第Ⅲ相試験、肺動脈性肺高血圧症治療剤「MD-0701」の臨床第Ⅱ/Ⅲ相試験、バイオ後続品G-CSF製剤「FSK0808」の臨床第Ⅱ/Ⅲ相試験、「エパデール」の非アルコール性脂肪肝炎の臨床第Ⅱ相試験（米国）、および子宮内膜症治療剤「ディナゲスト」の子宮腺筋症の効能追加についての臨床前期第Ⅱ相試験をそれぞれ実施中です。JR-031については、共同開発および事業化に関する契約を解約することに日本ケミカルリサーチ株式会社と合意しました。また、「エパデール」のスイッチOTC薬については製造販売承認申請中です。

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は73億9百万円です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1,172億7千2百万円となり、前連結会計年度末比で86億9千5百万円増加いたしました。

資産の増加は、主に現金及び預金と有価証券の手元流動性資金や投資その他の資産が増加したためです。負債・純資産の増加は、主に配当金、法人税等の支払や自己株式の取得がありましたが、短期借入金の借入れや四半期純利益により増加したためです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、311億6千6百万円となり、前連結会計年度末比で43億2千2百万円増加いたしました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、災害損失、法人税等の支払などがありましたが、税金等調整前四半期純利益などにより43億3千3百万円の収入（前年同期比46.5%増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形・無形固定資産の取得による支出などにより8億1千3百万円の支出（前年同期は12億2千万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や自己株式の取得などがありましたが、短期借入れによる収入により8億3百万円の収入（前年同期は9億5千万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、今後も厳しい状況が継続すると考えられますが、ほぼ計画に沿った業績で推移しているため、通期連結業績予想は、平成23年7月29日に公表いたしました数値から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

1. 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

2. 表示方法の変更

従来、営業外収益に計上しておりました「ロイヤリティ収入等」につきましては、主に研究開発活動の成果である技術の供与等の対価として、重要性が高まったため、第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書における「ロイヤリティ収入等」126百万円を「売上高」に組替えております。また、この変更に伴い、前連結会計年度の連結貸借対照表における流動資産の「その他」102百万円を「受取手形及び売掛金」に、前第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書における「その他の流動資産の増減額」74百万円を「売上債権の増減額」にそれぞれ組替えております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 24,538 | 26,558 |
| 受取手形及び売掛金 | 25,374 | 25,760 |
| 有価証券 | 9,325 | 11,328 |
| 商品及び製品 | 6,405 | 6,791 |
| 仕掛品 | 1,493 | 2,342 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,771 | 3,358 |
| 繰延税金資産 | 4,503 | 3,811 |
| その他 | 2,779 | 3,166 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 流動資産合計 | 77,191 | 83,117 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 7,248 | 7,159 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 3,103 | 2,746 |
| 土地 | 6,093 | 6,093 |
| その他（純額） | 1,184 | 1,341 |
| 有形固定資産合計 | 17,630 | 17,340 |
| 無形固定資産 | 1,167 | 1,044 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,289 | 7,748 |
| 繰延税金資産 | 3,258 | 3,083 |
| その他 | 2,039 | 4,937 |
| 投資その他の資産合計 | 12,587 | 15,769 |
| 固定資産合計 | 31,385 | 34,154 |
| 資産合計 | 108,577 | 117,272 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 7,993 | 10,717 |
| 短期借入金 | 875 | 5,875 |
| 未払法人税等 | 1,809 | 2,132 |
| 賞与引当金 | 2,643 | 2,328 |
| 災害損失引当金 | 2,543 | — |
| その他の引当金 | 977 | 887 |
| その他 | 6,258 | 8,748 |
| 流動負債合計 | 23,099 | 30,688 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 4,837 | 4,968 |
| その他 | 2,510 | 2,259 |
| 固定負債合計 | 7,348 | 7,227 |
| 負債合計 | 30,447 | 37,916 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,229 | 7,229 |
| 資本剰余金 | 1,871 | 1,871 |
| 利益剰余金 | 79,494 | 83,012 |
| 自己株式 | △10,142 | △12,944 |
| 株主資本合計 | 78,452 | 79,169 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △323 | 186 |
| その他の包括利益累計額合計 | △323 | 186 |
| 純資産合計 | 78,129 | 79,356 |
| 負債純資産合計 | 108,577 | 117,272 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 39,151 | 42,512 |
| 売上原価 | 14,903 | 14,667 |
| 売上総利益 | 24,248 | 27,845 |
| 返品調整引当金戻入額 | 1 | 5 |
| 差引売上総利益 | 24,249 | 27,850 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,466 | 20,479 |
| 営業利益 | 6,782 | 7,370 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 21 | 14 |
| 受取配当金 | 107 | 103 |
| その他 | 87 | 96 |
| 営業外収益合計 | 216 | 213 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 18 | 36 |
| 支払手数料 | 12 | 10 |
| その他 | 7 | 4 |
| 営業外費用合計 | 38 | 52 |
| 経常利益 | 6,960 | 7,531 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 4 | — |
| 固定資産売却益 | 0 | — |
| 災害損失引当金戻入額 | — | 532 |
| 特別利益合計 | 4 | 532 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 40 | 5 |
| 固定資産撤去費用 | 31 | — |
| 投資有価証券評価損 | 174 | 393 |
| 災害による損失 | — | 329 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 189 | — |
| 特別退職金 | 222 | — |
| 特別損失合計 | 657 | 729 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,307 | 7,335 |
| 法人税等 | 2,421 | 2,630 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,885 | 4,705 |
| 四半期純利益 | 3,885 | 4,705 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,885 | 4,705 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | △441 | 509 |
| その他の包括利益合計 | △441 | 509 |
| 四半期包括利益 | 3,443 | 5,214 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 3,443 | 5,214 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,307 | 7,335 |
| 減価償却費 | 1,291 | 1,360 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 39 | 5 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 189 | — |
| 特別退職金 | 222 | — |
| 災害損失引当金戻入額 | — | △532 |
| 災害損失 | — | 329 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 174 | 393 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △4 | △0 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △235 | △315 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △70 | 131 |
| 受取利息及び受取配当金 | △128 | △117 |
| 支払利息及び支払手数料 | 31 | 47 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 122 | △386 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △266 | △1,875 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △1,989 | △387 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 716 | 2,723 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 18 | 2,433 |
| その他 | △382 | △3,387 |
| 小計 | 6,034 | 7,759 |
| 利息及び配当金の受取額 | 129 | 118 |
| 利息及び手数料の支払額 | △31 | △48 |
| 災害損失の支払額 | — | △1,674 |
| 特別退職金の支払額 | — | △171 |
| 法人税等の支払額 | △3,173 | △1,648 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,958 | 4,333 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △3,700 | △3,400 |
| 定期預金の払戻による収入 | 3,600 | 3,700 |
| 有形及び無形固定資産の取得による支出 | △1,122 | △1,089 |
| その他 | 1 | △24 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,220 | △813 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | — | 5,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,500 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | — | △187 |
| 配当金の支払額 | △1,562 | △1,181 |
| 自己株式の取得による支出 | △877 | △2,812 |
| 自己株式の売却による収入 | 8 | 10 |
| その他 | △19 | △25 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △950 | 803 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △0 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 786 | 4,322 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 26,434 | 26,843 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 27,220 | 31,166 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) [連結]設備投資、減価償却費、金融収支、研究開発費

1. 設備投資

| | 平成23年3月期 | 平成24年3月期 |
|-------|-----------|----------------------|
| 第2四半期 | 1,018 百万円 | 699 百万円 |
| 通 期 | 1,977 百万円 | (予) 1,300 百万円 |

2. 減価償却費

| | 平成23年3月期 | 平成24年3月期 |
|-------|--------------------------------|---|
| 第2四半期 | 1,291 百万円 (うち、有形 1,003 百万円) | 1,360 百万円 (うち、有形 1,052 百万円) |
| 通 期 | 2,866 百万円 (うち、有形 2,274 百万円) | (予) 2,900 百万円 (うち、有形 2,200 百万円) |

3. 金融収支

| | 平成23年3月期 | 平成24年3月期 |
|-------|----------|--------------------|
| 第2四半期 | 97 百万円 | 69 百万円 |
| 通 期 | 162 百万円 | (予) 100 百万円 |

4. 研究開発費

| | 平成23年3月期 | 平成24年3月期 |
|-------|----------------------------|---------------------------------------|
| 第2四半期 | 4,609 百万円 (売上高比 11.8%) | 7,309 百万円 (売上高比 17.2%) |
| 通 期 | 11,642 百万円 (売上高比 14.6%) | (予) 13,900 百万円 (売上高比 16.6%) |

(2) 主要製品の売上高

主要製品の売上高

(平成24年3月期 第2四半期実績)

(単位：億円)

| 製 品 名 | 前 期 平成23年3月期 | | 当 期 平成24年3月期 | | 対前年 同四半期 増減率 (%) |
|------------------------|-----------------|----------|-----------------|----------|---------------------------|
| | 第2四半期 実績 | 年間 実績 | 第2四半期 実績 | 年間 見込 | |
| 高脂血症・閉塞性動脈硬化症治療剤 エパデール | 180 | 370 | 190 | 377 | + 6 |
| 持続性Ca拮抗降圧剤 アテレック | 71 | 141 | 66 | 137 | △ 6 |
| 子宮内膜症治療剤 ディナゲスト | 23 | 48 | 25 | 50 | + 12 |
| 抗ウイルス剤 アラセナーA | 12 | 25 | 12 | 23 | △ 6 |
| 膵炎・ショック治療剤 ミラクリッド | 10 | 20 | 9 | 19 | △ 9 |
| 血液凝固阻止剤 ノボ・ヘパリン | 8 | 17 | 8 | 15 | + 4 |
| 自律神経調整剤 グランダキシン | 7 | 15 | 7 | 14 | △ 7 |
| 子宮内膜症・子宮筋腫治療剤 スプレキュア | 6 | 13 | 5 | 11 | △ 12 |
| 止血剤 トロンビン | 5 | 11 | 5 | 10 | △ 11 |
| 真菌症治療剤 フロリード | 6 | 11 | 6 | 10 | △ 3 |
| 精神神経用剤 (自社販売分) レクサプロ | - | - | 3 | 10 | - |
| スキンケア製品 コラージュ類 | 14 | 29 | 15 | 31 | + 6 |
| スキンケア製品 スキナ類 | 3 | 7 | 3 | 6 | △ 2 |

(3) 医薬品開発状況

医薬品開発状況

| 開発番号(製品名、一般名など) : 導入先など | | | |
|---|-------------|-----|---------------------|
| 開発段階 | 適応症 | 剤型 | 備考 |
| MTD-39(ベセルナクリーム、イキモト) : 豪国アイノバ・ファーマシューティカルズ社から導入 | | | |
| 承認申請中 | 日光角化症 | 外用剤 | <効能追加> 平成23年2月申請 |
| MD-0901(未定、メサラジン) : 英国シャイア・ファーマシューティカルズ・グループ社から導入 | | | |
| 臨床第Ⅲ相 | 潰瘍性大腸炎 | 経口剤 | |
| AJH801(未定、シルニジピン・バルサルタン配合剤) : 味の素製薬(株)と共同開発 | | | |
| 臨床第Ⅲ相 | 高血圧症 | 経口剤 | |
| MD-0701(未定、トレプロスチニル) : 米国ユナイテッド・セラピューティクス社から導入 | | | |
| 臨床第Ⅱ/Ⅲ相 | 肺動脈性肺高血圧症 | 注射剤 | |
| FSK0808(未定、遺伝子組換えG-CSF) : 富士製薬工業(株)と共同開発 | | | |
| 臨床第Ⅱ/Ⅲ相 | 好中球減少症 | 注射剤 | バイオ後続品 |
| MND-21(エパデール、イコサペント酸エチル) | | | |
| 臨床第Ⅱ相 | 非アルコール性脂肪肝炎 | 経口剤 | <効能追加> |
| MJR-35(ティナゲスト、ジエノゲスト) : 独国イェナファーム(ハイエル・ファーマAG)社から導入 | | | |
| 臨床前期第Ⅱ相 | 子宮腺筋症 | 経口剤 | <効能追加> |